

# Japanese In NY (ニューヨーク生活)



Photo : Central Park

## 《 New York, New York 》

今回はニューヨーク生活の思い出ではなく、大好きなニューヨークへの想いを込めながら書かせてもらいます。

新型コロナウイルスの影響が全世界に広がる中、特に感染被害が甚大だったニューヨーク。3月以降～5月初旬の時点でもジャズ、音楽は勿論、エンタテインメントの開催やレストランもオープンできない状況が続いている。ウェイター時代の仲間やお世話になっているミュージシャンや音楽関係者も Stay Home を余儀なくされ、本当に大変な状況が続いてしまっている。

この状況はニューヨークに限らず、日本も同じような状況だ。テレビやインターネットのニュース以外にも、Facebook や Twitter など SNS 上でも様々な情報や書き込みが飛び交っている。SNS ではミュージシャンなどアーティストの情報をチェックすることも多く、時間があるとスクロールしてしまうのだが、何となく気分が悪くなるような瞬間も度々あった。

発言することは自由だし、それぞれ意見があって考え方も異なって当然だが、日本政府への批判やマスクがどうだこうだとか、アーティストがニュース記事を引用して苛立ちや不満、罵倒に近い発言をネットに噴出させている状況に正直、戸惑いを感じてしまった。アーティストの発言に共感するファンの人たちの書き込みも目に留まったが、純粋にアーティストの音楽や演奏が好きなファンもいることを考えながら発言して欲しいと思ってしまった。

あくまでも個人的な思いだが、アーティストには常に人々に夢や感動を与える存在であって欲しいし、こんな状況だからこそ、Stay Home を余儀なくされて我慢している人たちに素晴らしい音楽や素敵な演奏で希望や癒しを与えて欲しいとこそ。怒りや不満を感じるなら、自分の音楽にその思いを込めて激しい音楽や演奏で表現して欲しいと思ってしまった(チャールス・ミンガスのように…)。

「毎日メディアで細部をつついては批判と罵倒に明け暮れている、そういうものが人びとの不安をどれほど煽っているか。なぜもっと寛容な、建設的な言動がとれないのか、不思議でなりません」「今一番必要なのは政治的利害を乗り越えた団結ではないかと思います」「何でも反対、何でも批判の政治的プロパガンダはお休みにしませんか？ 責任追及や糾弾はこのウイルスが収束してからいくらでもすればいいと思います」と、ラジオ番組で語っていたのは山下達郎さんですが、本当にそう思った。アーティストに限らずそれぞれのジャンルで自分が今できることを前向きに取り組んで欲しいと思う。未だに実態が見えない新型コロナウイルスへの不安以上に、悲しいというか、寂しいというか、残念でもあった。

ニューヨークの話から脱線してしまったが、ニューヨークは必ず立ち上がると信じている。フランク・シナトラが華やかに歌った「New York, New York」のように、人々が心から音楽を楽しめるニューヨークの街を心待ちにしている。

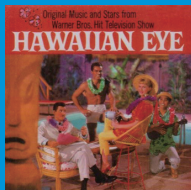
## Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

### Fujiya フジヤ

今回はハワイ・オアフ島ホノルルのワイアカミロ・ドライブに佇み、1958年に創業された老舗和菓子メーカーの「Fujiya」。生菓子の「Mochi」やお土産に最適なクッキー「Senbei」等、日本では味わうことの出来ない商品が揃っている。定番は日持ちするトロピカル煎餅。カリヒ地区にある工場兼直営店舗以外に、シェルトン・ワイキキのローソンやドン・キホーテ、ドール・プランテーション等でも購入できるそうだ。創業以来、日系人が経営を担っており、ハワイの地元住民等にも愛され続けている。

HP : <http://fujiyahawaii.com>

《 ハワイな一枚 》



Hawaiian Eye  
Various Artists

Collectables [Import CD]

1950年代から1960年代にかけて放送されていたアメリカのTVドラマ『ハワイアン・アイ』からの音楽を収録したアルバム。全13曲収録。1959年発売。